

第2分団 分団長

石川卓さん

第2分団を紹介します



私たち第2分団は、大浜地区を中心に火災現場での消火活動をはじめ、地震や風水害など、有事に備えての各種訓練を行っています。構成される団員は職業も年齢も違う若者たちです。皆がお互いの事を思いやり、協力しながら地域の安心安全のため活動してくれています。

本年度は新型コロナウイルスの影響により、様々な活動制限がありますが、火災や自然災害は^{そんたく}付度してくれませんか。感染予防対策を取りながら、地域防災のために訓練を続けていますので、地域の皆さんには騒音などご迷惑をお掛けする場合がありますが、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、共に活動していただける消防団員を募集しています。多くの若者が集まり、互いを理解し協力し合うなかで、一生のきずなが生まれます。この経験は人生において何にも代えがたい財産になると信じております。不安も多くあると思いますが、地域の皆さんのため、自分自身の成長のために、どうか消防団の門をたたいていただければと思います。



町をきれいに クランピー情報局

問 環境課ごみ減量係 ☎ (95) 9899

正しい分別でごみ出しをお願いします

●「家庭のごみの出し方検索」をご存じですか

市ではごみを、燃やすことのできるごみ、資源ごみ、粗大ごみ、受け取りできないごみに分けています。市のホームページでは「家庭ごみの出し方検索」を公開しており、50音順で検索するか、調べたい品名などを入力すると、簡単にごみの分け方・出し方が分かります。



家庭のごみの
出し方検索



- 例** 使い捨てカイロ : 燃やすことのできるごみ
 ライター : 資源ごみ (ライター)
 ふとん : 粗大ごみ ※雨の日は受け入れできません。
 洗濯機 : 受け取りできないごみ

※家電販売店などでリサイクル料金を支払い廃棄してください。

ごみを出す時に「これは可燃ごみかな？資源ごみかな？」と迷うことがあると思います。皆さんが日常使うものを掲載したので、積極的に活用してください。分別に関する問い合わせは、環境課でも受け付けているので、不明な点があれば気軽に連絡してください。

●災害時のごみ出しについて

災害が発生した場合、ごみの出し方は平常時と違い、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、家電製品、畳、瓦やガラス類など、簡易的に分別してもらうことになります。しかしながら、災害の状況に応じてごみの排出場所や分別方法が変わることも想定されます。災害はいつ起こるかわかりません。普段からごみの分別を心掛けるようにしましょう。